

所属・資格 教育学科・教授

申請者氏名 望月 由起

研究課題		キャリア教育を基軸とした校種間連携の可能性と課題
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>変化の激しい時代において、新たな価値を創造していく力を育成するために、異なる学校種間の連携が推し進められている。</p> <p>本研究では、各学校段階の教育活動全体を通じた取り組みが期待される「キャリア教育」に着目し、それを基軸とした校種間連携の可能性と課題について、学校現場の実情にも目を向けながら検討する。</p> <p>本年度は、中学校のキャリア教育に焦点をあて、小学校や高校との連携の現状やその成果・課題を調査する。</p>
	研究の結果	<p>東京都大田区教育委員会の協力を得て、区内全ての公立中学校を対象とした「大田区立中学校におけるキャリア教育に関する調査」を実施した。その一部は、区内中学校のキャリア教育（職場体験）担当者に研修の場で速やかに公開し、アフターコロナ期の中学校の職場体験に関する現実的な検討に役立てることができた。なお最終的な分析成果については、日本大学文理学部人文科学研究所の共同研究（第五次報告書）にて公表している（以下の【研究成果】参照のこと）。</p> <p>また、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により教育現場での観察調査は実施できなかったが、学校運営委員会委員長を務める世田谷区立松沢中学校にて、中学校のキャリア教育の現状やニーズについて、小学校との連携といった観点も含めて、学校関係者だけでなく保護者や地域の方々からも情報収集を行うことはできた。</p>
	研究の考察・反省	<p>今年度の大田区における質問紙調査は、その実施を急遽決定したこともあり、短期間でのオーソドックスな内容の調査内容にとどまってしまった。</p> <p>次年度は大田区の現状や課題をふまえた調査を設計し、余裕をもって丁寧な回答を得られるように準備を進めたい。その上で、より有益な職場体験やキャリア教育の在り方について、他の学校種や地域との連携の観点も交えながら、学校現場の先生方と一緒に検討していきたいと考えている（次年度も、東京都大田区教育委員会の協力を得て調査や研修にあたる予定である）。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	<p>【研究発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大田区立中学校生徒職場体験連絡協議会「職場体験を推進するための課題解決に向けてーコロナ禍での職場体験の在り方ー」2022年5月13日/大田区池上会館にて 島根大学教育学部現職教職員研修「キャリア教育と地域連携」2022年8月3日/オンライン（Zoomによる同時双方向形式）にて 	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>【研究成果物】</p> <ul style="list-style-type: none"> 望月由起「アフターコロナ期における職場体験活動ーX区の全区立中学校への調査を通してー」日本大学文理学部教育学科『Society5.0に対応する学校教育に関する基礎的研究ー日本大学文理学部人文科学研究所共同研究(第五次報告書)ー』2023年2月23日発行 	